

標準的な動画を撮影する(ムービー)

1. RECモードにして、撮影する被写体にカメラを向けます。

2. 【●】(MOVIE)を押します。

- 動画の撮影が始まります。
- 残りのメモリー容量の範囲内で撮影することができます。



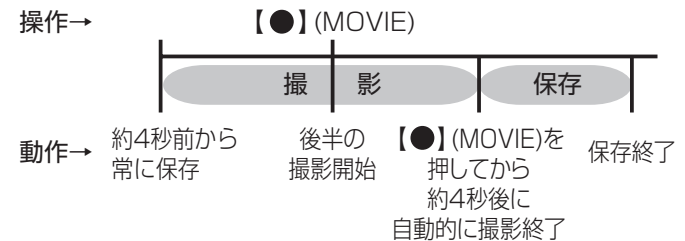
3. 動画撮影を終了させたいときは、もう一度【●】(MOVIE)を押してください。

- 動画撮影が終了すると、動画ファイルがカメラのメモリーに保存されます。

短時間の動画を撮影する(ショートムービー)

【●】(MOVIE)を1回押すと、その前後の短い数秒間(最短で2秒間、最長で8秒間)の動画が記録されます。撮影時間は前後独立して設定することができます。また、モーシオンプリント機能(103ページ)により動画の保存と同時に動画の内容を1枚の静止画に記録することもできます。

- 前の動画を4秒、後の動画を4秒に設定した場合



1. RECモードにして【BS】(BEST SHOT)を押します。

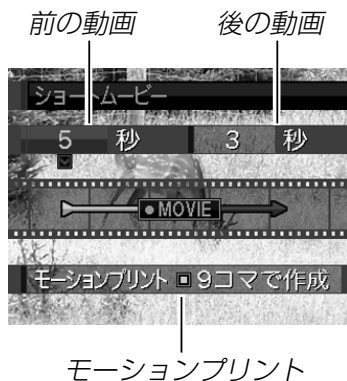
2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で“ショートムービー”のシーンを選び、【SET】を押します。

- “ショートムービー”のシーンを選ぶと、【液晶モニター】に“📷”が表示されます。

3. 【SET】を押します。

4. 【▲】【▼】で【●】(MOVIE)を押す前に何秒間撮影するかを設定し、【▶】を押します。

- 設定できる時間は前後の合計で最短2秒間、最長8秒間で1秒単位で設定できます。前または後を0秒にすることもできます。
- 前の動画は5秒まで設定できます。



5. 【▲】【▼】で【●】(MOVIE)を押した後に何秒間撮影するかを設定し、【▶】を押します。

6. 【▲】【▼】でモーションプリントの設定をし、【SET】を押します。

9コマで作成：

【●】(MOVIE)を押した瞬間の静止画を最も大きくレイアウトした9コマの静止画が記録されます。



1コマで作成：

【●】(MOVIE)を押した瞬間の静止画が記録されます。



切：静止画は記録されません。

7. 撮影する被写体にカメラを向け、【●】(MOVIE)を押します。


- 設定した時間の動画が記録され、自動的に撮影は終了します。
- 動画撮影を途中で終了させたいときは、もう一度【●】(MOVIE)を押してください。

重要! ●(MOVIE)を押す前から、動画の撮影は始まっています。設定した「●(MOVIE)を押す前の撮影時間」はしっかりとカメラを構えていてください。また「●(MOVIE)を押した後の撮影」が始まると、設定した時間が4, 3, 2, 1・・・とカウントダウン表示されます。この表示が消えるまでは撮影が続いています。



決定的瞬間の動画を撮影する (パストムービー)

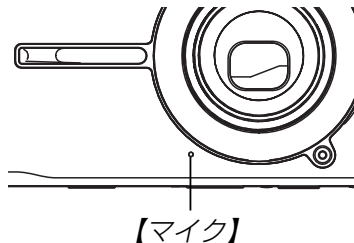
●(MOVIE)を押す約5秒前から動画が記録されます。決定的瞬間の撮り逃しを防ぐことができます。



1. RECモードにして【BS】(BEST SHOT)を押します。
2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で“パストムービー”のシーンを選び、【SET】を押します。
 - “パストムービー”のシーンを選ぶと、【液晶モニター】に“”が表示されます。
3. 撮影する被写体にカメラを向け、●(MOVIE)を押します。
 - ●(MOVIE)を押す約5秒前と●(MOVIE)を押した後の動画を、残りのメモリー容量の範囲内で撮影することができます。
4. 動画撮影を終了させたいときは、もう一度●(MOVIE)を押してください。

■動画撮影時のご注意

- フラッシュは発光しません。
- 本機では音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
 - 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。
 - 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
 - 撮影中にボタン操作をすると、操作音が入ることがあります。
 - 音声はモノラルで録音されます。
- 極端に明るい被写体を撮影すると、【液晶モニター】上の画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があります(スミア現象といいます)。これはCCD特有の現象で、故障ではありません。なお、この帯は静止画には記録されませんが、動画にはそのまま記録されますので、ご注意ください。
- 使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、コマ落ちする場合があります。このとき、とが点滅します。



- 動画撮影中は光学ズームは動作しません。デジタルズームのみ使用できます。【●】(MOVIE)を押す前であれば、光学ズームは使用できます(47 ページ)。
- アップで撮影したり、高倍率ズームにしたとき、被写体のブレが目立つため手振れにご注意ください。三脚を使用することをおすすめします。
- 撮影範囲外ではピントが合わず、ぼけた画像になります。

動画撮影中に静止画を撮影する

動画撮影の最中にも静止画を撮影することができます。


1. 撮影する被写体にカメラを向け、【●】(MOVIE)を押します。

- 動画撮影が始まります。

2. 静止画を撮りたい場面になったら、【シャッター】を押します。

- 静止画を撮影した後、動画撮影に戻ります。
- 動画撮影を終了させたいときは、もう一度【●】(MOVIE)を押してください。

- 重要!**
- 動画撮影中に静止画撮影できるのは、下記の場合のみです。
オート撮影、ベストショット撮影(名刺や書類、ホワイトボード、ショートムービー、パストムービー、ボイスレコードを除く)
 - 静止画を撮影した瞬間、動画撮影(映像と音声)は数秒間途切れます。


- 参考**
- 動画撮影中に【▼】()を押して、静止画撮影でのフラッシュ発光方法を切り替えることができますので、静止画撮影前に必要に応じてフラッシュの発光方法を切り替えてください(49ページ)。
 - キーカスタマイズ機能を使うと、静止画撮影時や動画撮影中に、【◀】【▶】により割り当てた機能を設定することができます(87ページ)。

音声を記録する

画像に音声を加えて記録する (音声付き静止画撮影モード)

画像撮影後に、音声を録音することができます。

- 画像形式：JPEG形式
画像を効率よく圧縮するための画像フォーマットです。
拡張子は“.JPG”となります。
 - 録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。
拡張子は“.WAV”となります。
 - 録音時間：1画像につき最長約30秒間
 - 音声ファイルサイズ：
約165KB(約5.5KB/秒で30秒間録音時)
- 参考** ● 音声付き静止画撮影モードで録音したファイルは、Windows Media Playerを使用して、パソコン上で再生することもできます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“音声付静止画”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“入”を選び、【SET】を押します。
 - 音声付き静止画撮影モードになります。
 - “切”を選ぶと、通常の静止画撮影になります。
4. 【シャッター】を押して、画像を撮影します。
 - 画像を撮影した後、音声録音スタンバイ状態になります(今、撮影した画像が表示され、が表示されます)。
 - 音声録音スタンバイ状態で【MENU】を押すと、音声録音を解除することができます。
5. 【シャッター】を押して、音声を録音します。
 - 録音中は【動作確認用ランプ】が緑色に点滅します。
 - 【▲】(DISP)を押して【液晶モニター】をオフに設定しても、音声録音時には【液晶モニター】は点灯します。



録音可能時間

6. 【シャッター】を押すか約30秒経つと、録音を終了します。

重要! • 次の撮影では、音声付き静止画撮影はできません(音声の録音できません)。
セルフタイマー撮影の“×3”(トリプルセルフタイマー)、動画撮影中の静止画撮影

音声のみ記録する(ボイスレコード)


音声のみを録音することができます。

- 録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。
拡張子は“.WAV”となります。
- 録音時間：内蔵メモリー使用時で最長約25分
- 音声ファイルサイズ：
約165KB(約5.5KB/秒で30秒間録音時)

参考 • ボイスレコードで録音したファイルは、Windows Media Playerを使用して、パソコン上で再生することもできます。

1. RECモードにして【BS】(BEST SHOT)を押します。

2. 【▲】【▼】【◀】【▶】で“ボイスレコード”のシーンを選び、【SET】を押します。

- “ボイスレコード”のシーンを選ぶと、【液晶モニター】に“”が表示されます。



録音可能時間

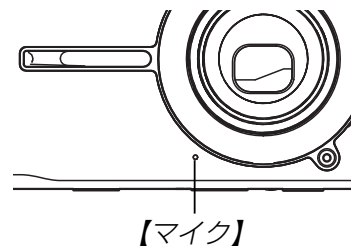
3. 【シャッター】を押して、音声を録音します。

- 録音中は【液晶モニター】に“録音時間”を表示します。また、【動作確認用ランプ】が緑色に点滅します。
- 録音中に【▲】(DISP)を押すと、【液晶モニター】が消灯します。
- 録音中に【SET】を押すと、録音位置を記憶したマークを付けることができます。

4. 【シャッター】を押すかメモリーがいっぱいになるか、または電池が消耗すると録音を終了し、音声を記録します。

■ 音声記録時のご注意

- 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。



- 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 録音中に【電源ボタン】を押したり【▶】(PLAY)を押すと、録音は中止となり、その時点までの音声が記録されます。
- 撮影済みの静止画像に、後から音声を追加(アフターレコーディング機能)することができます。また、録音済みの音声を記録し直すこともできます(110ページ)。

ヒストグラムを活用する

【▲】(DISP)を押して【液晶モニター】上にヒストグラムを表示させることにより、露出(光の量や明るさ)をチェックしながら撮影することができます(26ページ)。再生モードでは撮影された画像のヒストグラムを見ることができます。

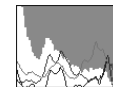


ヒストグラム(輝度成分分布表)とは、画像の明るさのレベルをピクセル数によりグラフ化したものです。縦軸がピクセル数、横軸が明るさを表します。ヒストグラムを見ると、補正するために十分な画像のディテールが画像のシャドウ(左側)、中間調(中央部分)、ハイライト(右側)に含まれているかどうかを確認することができます。もしもヒストグラムが片寄っていた場合は、EVシフト(露出補正)を行うと、ヒストグラムを左右に移動させることができます。なるべくグラフが中央に寄るように補正をすることによって、適正露出に近づけることができます。さらにR(赤)、G(緑)、B(青)の色成分が独立したヒストグラムも同時に表示されますので、色ごとに「赤成分がオーバー」「青成分がアンダー」のように各色の分布状況も直感的に把握することができます。

参考 ●キーカスタマイズ機能で“EVシフト”の切り替えを【◀】【▶】に割り当てると(87ページ)、ヒストグラムを確認しながら【◀】【▶】でEVシフトを行って撮影することができます(63ページ)。

- ヒストグラムが左の方に寄っている場合は、暗いピクセルが多いことを示しています。

全体的に暗い画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり左に寄り過ぎていると、黒つぶれを起こしている可能性もあります。



- ヒストグラムが右の方に寄っている場合は、明るいピクセルが多いことを示しています。

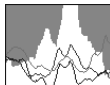
全体的に明るい画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり右に寄り過ぎていると、白飛びを起こしている可能性もあります。



撮影する(応用編)

- ヒストグラムが中央に寄っている場合、明るいピクセルから暗いピクセルまで適度に分布していることを示しています。

全体的に適度な明るさの画像はこのようなヒストグラムになります。



- 重要!**
- 前記のヒストグラムはあくまでも例であり、被写体によってはヒストグラムの形が例のようにならない場合があります。
 - 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もあるので、必ずしも中央に寄ったヒストグラムが適正となる訳ではありません。
 - 露出補正には限界がありますので、調整しきれない場合があります。
 - フラッシュ撮影など、撮影したときの状況によっては、ヒストグラムによりチェックした露出とは異なる露出で撮影される場合があります。
 - RGB(色成分)ヒストグラムは、静止画にのみ表示されます。

各種機能を設定する

RECモードでは、下記の機能を設定することができます。

- 左右キー設定
- グリッド表示のオン/オフ
- 撮影レビュー
- アイコンガイド
- 各種設定の記憶(モードメモリ)
- ISO感度
- 測光方式
- フィルター
- シャープネス
- 彩度
- コントラスト
- 各種設定のリセット

- 参考** • 上記以外に、次の機能も変更できます。操作方法については各ページをご覧ください。
- 連写(67ページ)
 - AFエリア(59ページ)
 - ブレ軽減(72ページ)
 - クイックシャッター(59ページ)
 - 音声付静止画(82ページ)
 - デジタルズーム(49ページ)
 - サイズ(55ページ)
 - 画質(静止画)(56ページ)
 - 画質(動画)(76ページ)
 - ホワイトバランス(65ページ)
 - フラッシュ光量(51ページ)
 - フラッシュアシスト(52ページ)

左右キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ)

【◀】【▶】に5つの中のどれか1つの機能の操作を割り当てることにより、操作しやすくすることができます。

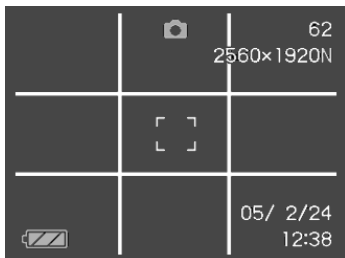
1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“左右キー設定”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で割り当てる機能を選び、【SET】を押します。
 - 【◀】【▶】を押すだけで、割り当てた機能を設定することができますようになります。

フォーカス	：	(57ページ)
EVシフト	：	(63ページ)
ホワイトバランス	：	(65ページ)
ISO感度	：	(91ページ)
セルフタイマー	：	(53ページ)
 - 切
 - ：【◀】【▶】に操作を割り当てません。

重要! • 静止画撮影と動画撮影中に、【◀】【▶】により割り当てた機能を設定することができますようになります。ただし、動画撮影中はセルフタイマーの設定はできません。

グリッドを表示する

撮影時、【液晶モニター】に方眼を表示します。カメラを水平や垂直に保つのに便利です。



1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“グリッド表示”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入：グリッドを表示します。
切：グリッドは表示しません。

撮影した画像を確認する(撮影レビュー)

撮影した直後に撮影した画像を【液晶モニター】で確認することができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影レビュー”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定項目を選び、【SET】を押します。
入：撮影した画像が約1秒間表示されます。
切：撮影した画像は表示されません。

画面上のアイコンの意味を確認する (アイコンガイド機能)

RECモード時に【液晶モニター】上でアイコンの意味を確認しながら操作することができます(24ページ)。

- アイコンの意味を確認できる機能は、次の通りです。
フラッシュモード、フォーカスモード、ホワイトバランス、セルフタイマー、撮影の種類、露出補正
ただし、ホワイトバランス、セルフタイマー、露出補正のアイコンの意味は、キーカスタマイズ機能(87ページ)を“ホワイトバランス”、“セルフタイマー”、“露出補正”に設定したときのみ表示されます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“アイコンガイド”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
入：各種撮影機能を切り替えたとき、切り替えた機能を示すアイコンの近くに、アイコンの意味が表示されます。
切：アイコンの意味を表示しません。

- 重要!** • 次のアイコンは切り替え操作したときにだけアイコンとその意味が表示され、しばらくすると表示は消えます。
- フラッシュモードの“**FA**フラッシュオート”(50ページ)
 - フォーカスモードの“**AF**オートフォーカス”(58ページ)
 - ホワイトバランスの“**AWB**オートWB”(65ページ)

各種設定を記憶させる(モードメモリ)

モードメモリとは、電源を切ったときでも直前の状態を記憶しておく機能です。電源の入/切で毎回設定をし直す手間がはげます。

●モードメモリで設定できる機能

[BS] ベストショット、フラッシュ、フォーカス方式、ホワイトバランス、ISO感度、AFエリア、測光方式、セルフタイマー、フラッシュ光量、デジタルズーム、MF位置、ズーム位置

1. RECモードにして[MENU]を押します。
2. “撮影設定”タブ→“モードメモリ”と選び、**[▶]**を押します。
3. **[▲]****[▼]**で設定したい機能を選び、**[▶]**を押します。
4. **[▲]****[▼]**で設定内容を選び、**[SET]**を押します。
 入：電源を切ったときにその時点の設定を記憶します。
 切：電源を切ったときに初期設定に戻ります。

機 能	入	切
[BS] ベストショット※1	最後の状態	ベストショット状態を解除して起動
フラッシュ		オート
フォーカス方式		オート
ホワイトバランス		オート
ISO感度		オート
AFエリア		[・] スポット
測光方式		[☒] マルチ
セルフタイマー		切
フラッシュ光量		0
デジタルズーム		入
MF位置		MFに切り替える前の位置
ズーム位置※2		ワイド端

※1 ベストショットのシーン選択状態のまま起動するかどうかを設定します。「入」の場合はベストショットの前回使用したシーンで起動しますが、「切」にすると必ず「オート」の状態で起動します。

※2 ズーム位置では光学ズームの位置のみ記憶します。

重要! • ベストショットモードでは、シーンの選択をしたり、電源のオン/オフを行うと、モードメモリが入/切のどちらに設定されていても、撮影設定(“ズーム位置”以外)は各シーンの初期設定値となります。

ISO感度を変える

暗い場所で撮影するときやシャッター速度を速くしたいとき、ISO感度を変更できます。使用目的に応じてISO感度を設定してください。

- ISO感度とは、光に対する感度をISO(写真フィルムの感度単位)の数値で表したものです。数値が大きいほど感度が高くなり、暗い場所での撮影に強くなります。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “画質設定”タブ→“ISO感度”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

オート : 撮影条件により自動調整します。

ISO 50 : 感度が低い

ISO 100

ISO 200

ISO 400 : 感度が高い



- 重要!**
- 同じ撮影条件下でISO感度を上げるとシャッター速度は早くなりますが、画像は多少ざらついた感じ(ノイズが増加した画像)になりますので、きれいに撮りたいときはなるべくISO感度を下げてください。
 - ISO感度を上げてフラッシュ撮影すると、近くの被写体の明るさが適正にならない場合があります。
 - 動画撮影では、ISO感度がどこに設定されていても、常に“オート”に設定されます。
- 参考**
- キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】を押すだけでISO感度を変更することができます(87ページ)。

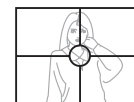
測光方式を変える

測光方式とは、被写体のどの部分の露出を測るかを決定する方式のことです。本機では測光方式が変更できます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “画質設定”タブ→“測光方式”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

マルチ(マルチパターン) :

画面の全体を分割し、それぞれのエリアについて測光します。測光結果の明暗パターンによって撮影環境がカメラが自動的に判断し、露出を決定します。さまざまなシーンで失敗の少ない露出が得られます。



中央重点 :

中央部を重点的に測光します。カメラ任せではなく、自分である程度露出をコントロールしたいときに使います。



スポット :

センターのごく狭い部分を測光します。周囲の影響を受けずに、写したい被写体に露出を合わせることができます。



- 重要!**
- “マルチ”設定時にEVシフト(63ページ)を行うと、測光方式が自動的に“中央重点”に切り替わります。EVシフトを“0.0”に戻すと、元の測光方式に戻ります。
 - “マルチ”設定時は、RECモードの情報表示に戻ったときにアイコンが表示されません(23ページ)。

色を変える(フィルター)

フィルター機能を使用して、撮影時の画像の色彩効果を変更することができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “画質設定”タブ→“フィルター”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
切／白黒／セピア／赤／緑／青／黄／ピンク／紫

- 参考**
- フィルター機能を使うと、色彩効果用のレンズフィルターを装着して撮影したような画像になります。

シャープネスを変える

撮影される画像の鮮鋭度を設定できます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “画質設定”タブ→“シャープネス”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

+2：鮮鋭度が高い

+1

0

-1

-2：鮮鋭度が低い



彩度を変える

撮影される画像の色の鮮やかさを設定できます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “画質設定”タブ→“彩度”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

+2：色の鮮やかさが高い

+1

0

-1

-2：色の鮮やかさが低い



コントラストを変える

撮影される画像の明暗の差を設定できます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “画質設定”タブ→“コントラスト”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

+2：明暗がクッキリする

+1

0

-1

-2：明暗が平坦になる



各種設定をリセットする

本機の設定内容を初期値に戻すことができます。初期値については「メニュー一覧表」(173ページ)をご覧ください。

1. 【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“リセット”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“リセット”を選び、【SET】を押します。
 - リセットしない場合は“キャンセル”を選びます。